

実践 日置市立中央図書館

1 はじめに

日置市は、平成17年5月に伊集院町・東市来町・日吉町・吹上町が合併して誕生した市である。薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市、北はいちき串木野市と薩摩川内市、南は南さつま市に隣接し、西は日本三大砂丘の一つである白砂青松の吹上浜と東シナ海に面している。妙円寺詣りや流鏝馬、せつとべに代表される歴史的な伝統行事と、薩摩焼や優れた泉質を誇る温泉など、自然と歴史の貴重な資源を数多く有している。

日置市立中央図書館は、平成元年に従来の公民館図書室から新しく生涯学習の拠点施設として伊集院町立図書館として開館し、その後合併を期に、日置市立中央図書館と名称を変更した。



【日置市立中央図書館】

2 子どもの読書活動に関する取組

(1) 定期的な取組

図書館おはなし会

毎月行っている「おはなし会」は、第1土曜日の図書館職員による「どようおはなし会」、第2・第4水曜日のお話ボランティアむぎばたけによる「むぎばたけのおはなし会」、第4土曜日のみつばち文庫による「みつばち文庫のおはなし会」である。内容については、絵本の読み聞かせや素話、エプロンシアター、工作などそれぞれの団体が工夫を凝らして行っている。



【おはなし会】

出前おはなし会

幼稚園や保育園、小学校、子ども会、長寿会、いきいきサロンなどからの要請に応じて、図書館から出向いてお話会や読み聞かせを行っている。

夏休みおはなし会

「かごしま文庫の会」にお願いし、2部構成で小さい子どもから大人まで楽しめるおはなし会を行っている。

ブックスタート

6～8か月児健診時に絵本入りのブックスタートバッグのプレゼントと併せて、読み聞かせの方法などを伝えている。

(2) イベント的な取組

日置市子ども読書活動推進大会

「日置市民総ぐるみの読書活動」の推進を図るため、6月の第4土曜日に、読書活動推進関係者が一堂に会し、読み聞かせグループ等の実演や、絵本作家の講演会などを行っている。



【日置市子ども読書活動推進大会の様子】

日置市民推薦図書 200 冊リスト

「日置市民総ぐるみの読書活動」を図るため、「幼児の部」50冊、「小学生の部」75冊、「中学生の部」60冊、「一般の部」50冊の市民推薦図書を制定し、現在第2期目である。小学生の部と中学生の部については、各学校へ配本している。同時にスタンプラリーを行っており、50冊読破したら認定証を交付している。幅広いジャンルの本を読むことで読書の幅を広げることができる。



【日置市民推薦図書 200 冊リスト】

読書まつり

10月27日から11月9日の全国読書週間にあわせて、地域内外のおはなしボランティアの方々に協力をお願いして、絵本の読み聞かせやパネルシアターなどの実演等のおはなし会を開催している。地域内の保育園・幼稚園、小学校からたくさんの参加があり、それぞれの団体の趣向を凝らしたおはなし会を楽しんでもらっている。

一日司書体験

市内の小学生を対象に、一日司書の仕事などを体験してもらおう。

おはなしと歌の夕べ

クリスマスに近い土曜日に、おはなし会とゴスペルソングを楽しんでもらっており、毎回100人ほどの参加がある。

3 学校と連携した取組

(1) 連携調査

毎年、年度始めに各学校に巡回文庫の申込や読み聞かせ、読書集会などの要望を聞くため、連携調査を行っている。

(2) 巡回文庫

遠隔地の3小学校と1中学校へ月1回、もしくは2回巡回している。

(3) 団体貸出

学級文庫用や図書室用に貸出を行っている。

(4) 社会科見学などの受入

生活科や社会科の授業での受入、館内の説明、要望による読み聞かせ等を行っている。

(5) 職場体験学習の受入

地域内の中学生・高校生の受入を行っている。

(6) 教職員の地域貢献体験研修等の受入

パワーアップ研修や初任者研修等の受入を行っている。

4 おわりに

日置市内には中央図書館を含め、中央図書館日吉分館、東市来図書館、ふきあげ図書館の4図書館がある。今回は、日置市立中央図書館が子ども読書活動推進と実践活動において鹿児島県と文部科学省から表彰を受けた。中央図書館が取り立てて、特別な活動をしているわけではないと思っている。他館と比べても突出した取組をしているわけでもない。これからも市内の4図書館が力を合わせ、市民の皆様に愛され、役に立ち、利用される図書館を目指して日々努力していきたいと思う。